

学校評価（保護者）

評価規準（5段階）

- 1 : 全くそう思わない
- 2 : そう思わない
- 3 : どちらともいえない
- 4 : そう思う
- 5 : 全くそう思う

学校運営に関する評価…若干ではあるが、前年度より平均が下がった項目が多かった。家庭との連携が課題といえる。

項 目	番号	評 価 規 準	令和5年度評価平均 (令和4年度評価平均)
学校運営	1	生徒一人ひとりを伸ばす教育活動を実践している。	3.75 (3.78)
	2	生徒の実態を踏まえ、校風や伝統を生かした学校づくりが推進されている。	3.83 (3.87)
施設・設備	3	生徒の学習活動や部活動を保障する施設や設備を持ち、適切な整備及び保全を図っている。	4.25 (4.33)
家庭との連携	4	生徒一人ひとりを理解するため、学校と家庭との連携を図っている。	3.43 (3.48)
	5	生徒や保護者が気軽に相談できる雰囲気がある。	3.42 (3.77)
学習指導	6	生徒に対して適切な教科指導を行っている。	3.67 (3.65)
	7	生徒は家庭で学習に取り組んでいる。	3.49 (3.71)
生徒指導	8	生徒の実態に合った生徒指導を行い、問題行動の予防に努めている。	3.72 (3.67)
進路指導	9	学校は、生徒の適性・希望に応じた進路指導を行っている。	3.66 (3.80)
特別活動等	10	生徒は、学校行事・部活動・生徒会活動等に積極的に参加している。	4.09 (4.14)

学校評価（教職員）

各評価基準（5段階）

- 1 : 全くそう思わない
- 2 : そう思わない
- 3 : どちらともいえない
- 4 : そう思う
- 5 : 全くそう思う

1 学校運営に関する評価…ほとんどの項目で前年度より評価平均が上がった。

提出：54名

項 目	番号	評 価 規 準	令和5年度評価平均 (令和4年度評価平均)
教育目標	1	教育目標は、校長の教育方針や教育理念を踏まえたものになっている。	3.94 (3.70)
	2	教育目標は、生徒や学校の実態を踏まえたものになっている。	3.85 (3.75)
経営方針	3	経営方針は、教育目標に基づいて設定されている。	3.94 (3.74)
	4	経営方針に基づき、教職員の協力による円滑な学校運営がなされている。	3.74 (3.57)
重点目標	5	重点目標は、経営方針に基づき、前年度の教育活動の成果と課題を踏まえて設定され、学校の実態に即した具体的なものになっている。	3.89 (3.72)
組織運営	6	校務分掌組織は学校の課題や実態を踏まえて編成され、有機的に機能している。	3.58 (3.08)
	7	個々の生徒や担任の抱える問題を取り上げ、学校全体で取り組んでいる。	3.74 (3.26)
	8	各種委員会は、学校の課題や実態を踏まえて設置されている。	3.81 (3.40)
	9	職員会議は、情報交換・共通理解・課題検討の場として有効に機能している。	3.69 (3.00)
管理職の指導体制	10	学校運営は、校長のリーダーシップの下で円滑に行われている。	3.70 (2.87)
	11	管理職は、教職員が職務に責任をもち、意欲的に仕事ができる環境を整えることに努力している。	3.83 (3.21)
施設・設備	12	施設・設備の適切な整備及び保全を図っている。	4.22 (4.06)
研究・研修	13	校内研修は、教育目標を実現するため、学校の実態や課題を踏まえた意義あるものになっている。	3.65 (3.57)
家庭との連携	14	学校と家庭の連携を緊密なものとし、生徒一人ひとりの理解に努めている。	3.92 (3.90)
	15	P T A活動を充実したものとするため、努力や工夫をしている。	3.59 (3.40)
教職員の姿勢	16	教職員は生徒の実態を把握し、個に応じた教科指導や生活指導を心がけ、指導方法に創意工夫をこらしている。	4.11 (3.98)
	17	教職員は生徒の進路希望を実現するため、誠意をもって取り組んでいる。	4.20 (4.32)
危機管理	18	災害や事故防止のための管理体制が整っており、組織的に機能している。	3.93 (3.89)
	19	非行、いじめ、ネットトラブルなどの問題行動を予防するため、普段から生徒の状況を把握している。	3.99 (3.81)
	20	教育相談に対する共通理解があり、生徒の心のケアに意欲的に取り組んでいる。	4.07 (3.95)
	21	生徒の問題行動及び心の健康に関して、家庭との連携を図り、協力して改善策を講じている。	4.05 (4.04)

2 教育活動に関する評価・・・前年度より評価平均が下がった項目が多い。学習指導に課題が多い。

項 目	番号	評 価 規 準	令和5年度評価平均 (令和4年度評価平均)
教育課程	22	教育課程は、生徒や学校の現状を踏まえ、特色ある学校づくりを目指した編成になっている。	3.70 (3.61)
学習指導	23	生徒一人ひとりの学力を高めるため、個に応じた指導をしている。	3.89 (4.00)
	24	教科内で十分話し合った上で、教科の目標を作成し、指導内容・指導方法について教科会等で検討し、その内容を次年度に生かしている。	3.87 (4.00)
	25	生徒の学力や興味・関心などの実態を踏まえ、教材の配置及び研究に努めている。	3.98 (4.20)
	26	基礎的・基本的な内容が身に付くよう、指導内容の重点化や教材の精選・工夫に努めている。	4.05 (4.08)
	27	教科指導の効果を高めるため、コンピュータ・視聴覚教材・教具等の教育機器の活用に努めている。	4.16 (3.84)
	28	生徒が意欲的に取り組む授業を展開するため、生徒が主体的に参加できるよう、指導方法を工夫している。	4.00 (3.98)
	29	家庭学習に取り組ませるため、課題や予習に関して適切に指示している。	3.81 (3.90)
	30	評価の方法や手順について教科内で話し合い、共通理解を図ったうえでやっている。	3.90 (4.00)
生徒指導	31	生徒指導の具体的な方法について共通理解を図りながら家庭と連携し、生徒の基本的生活習慣の確立に努めている。	4.18 (3.76)
進路指導	32	進路指導の具体的な方法について共通理解を図り、一貫した指導を行うことで生徒一人ひとりの自己実現につながる指導を行っている。	3.96 (4.00)
特別活動	33	学校行事は、生徒がその意義を理解し自主的に参加できるよう、全校的な協力体制のもとで円滑に運営されている。	4.11 (4.00)
部活動	34	部活動は、教師と生徒及び生徒相互の信頼関係に基づき、活発に行われている。	4.09 (4.06)
特別支援教育	35	支援を要する生徒を把握し、適切な指導及び必要な支援を行うための体制が確立している。	3.85 (3.94)
安全教育	36	交通マナーに関する指導や怪我防止・不審者への対処法等、安全教育を適切に行っている。	3.83 (3.88)
国際理解教育	37	関係機関等との連携を図り、国際理解教育を推進している。	3.50 (3.54)